

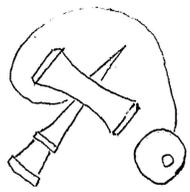
たけやの日記

2025.10.10

自主学童保育ささのほくらフ



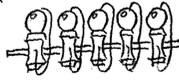
タニシデー 10/8 (水) 大盛りあがりでした!!



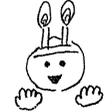
タニシとささのほくらフのつながりは、公設だった頃を含めて20年以上を越える長い長い歴史があります。「けん玉の楽しさをこどもたちに体験してほしい」と、毎年、お願いして来てもらっています。指導員としては、けん玉の楽しさを体験してもらいたいこともありますが、何より、タニシというステキな大人に出会ってほしいという思いが強いです。水曜日、タニシの仕事がお休みの日に来てもらっています。

当日、タニシは予定の13:30より早めにささのほに到着。こどもたちは、帰ってくる。「タニシ、来たよ!!」「やっぱり車があったよね(笑)」と、心から待ち望んでいる様子。「おお、タニシ」と初めて会った時は、タニシ「1年生だよね(笑)」と11カミです。全員がそろそろまでは、早く帰ってきていた西野川小の子たちやけん玉を持ってタニシのまわりに集まり、技のコツを教わります。「肩幅くらい足をひろげて、きり足を少し前にしてかまえる」「ヒサを使う」「ま、ま、玉を上げる」とタニシといっしょにやってみると、技が成功。「出来たじゃん! すてきよ!」との声に、こどもたちは、はじけんばかりの笑顔。指導員の所に来て、「タニシに教えてもらう、だから出来た!」と誇らしげな顔。少しずつ人数が増えてくると、5連のけん玉。昨年から今年の間で購入したという7連のけん玉

「たけや、たけや!」



「はかせ〜 けん玉のたけや」



を出してくれ。はじめ、みんな我先にと、「やりたい!」と列をついて、どきどきワクワクと奥深く楽しい、けん玉の世界に没入。こどもたちの心から楽しめになるような準備もささのほのひとこと。全員がそろそろまでは、タニシが大きいけん玉を供して、難易度の高い技を披露して、技が決まるたびに「オー! すげえ!」と歓声と拍手。こどもたちが自分もやってみたくて、さらに心躍らせているのが伝わってきます。指もワクワクしてきます。そして、各クラス(7~10級、4~6級、準初段~3級、初段以上)にわかれて、クラスごとの技を実演をまじえて、コツも含めて、わかりやすく教えてくれました。「またかな、タニシ、今どこにいる?」と「推し」の人を待っているようでした。おやつを食べた後は、みんなが帰るに待た「タニシゲーム」の時間。タニシがホックマナーで買ってきてくれたお菓子をかけた真剣勝負。でも、各クラスごとにタニシから出される技をクラスごとにやり、成功した人は残り、失敗する人は帰るという、実力の世界。けん玉大会で上位に進出するための練習にもなっています。みんなが貝の中(1/26)でプレッシャーを感じながら、技を連続で成功させていく集中力を楽しめながら磨かれていく70分間で、技をタニシが決める時は、「うーいす!」「はねけん!」「世界一周!」などなど、それぞれ自分の得意な技を叫び合う、みんな、発表される。「エー!」「ヨッシー!」と喜びと悲鳴(?)が入り混じっていました。ゲームに勝つと嬉しい人、くやして泣いている人。「次、もう一回やろう!」と声がかかりました。くやして田舎の原動機などなるので大切な機会だと思えます。次の日、「タニシ行く?」と1年生に向く人も聞かれました。本当に楽しかったですね!

裏面に続く

「今の自分の級、段よりも上をめざしてやってみよう！次会う時に
上がっていたら最高のね。」というコトハ、実現できるように
楽しみながら、けん玉に取り組んでいこうね！次回もお楽しみだ

お知らせ

- ・ 一青丸〜等でもお知らせしましたが、^{雨のため}イモ堀りは19/15(水)に
延期になりました。
- ・ 日が暮れるのが早くなっているため、公園から帰る時間が
17:15頃になります。お迎えの時間、お気を付けて下さい。